

令和2年度

社会福祉法人大阪市西淀川区社会福祉協議会 事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1 法人運営事業

(1) 社会福祉法人制度改革への対応及び組織の強化

- ① 透明性・信頼性の向上（コンプライアンス意識向上、個人情報の保護の徹底）
- ② 適正な法人運営（理事会・評議員会の開催）
- ③ 会員組織の充実（組織の充実、賛助会員の増加）
- ④ その他（感染症対策委員会、個人情報適正委員会の開催）

事業詳細	時期	内容
職員研修会	12月4日	コンプライアンス研修 「コンプライアンス及び個人情報の保護について」 (56名参加)
	12月11日	
	12月21日	
	12月23日	
理事会	5月29日	事業・決算報告など（書面にて決議）
	3月18日	事業計画・予算案など（15名出席）
評議員会	6月12日	事業・決算報告など（書面にて決議）
	3月26日	事業計画・予算案など（書面にて決議）
会員組織	通年	組織構成会員：29団体（昨年度30団体） 賛助会員：10団体（昨年度10団体）、 個人29人（昨年度27人）
感染症対策委員会	通年	コロナウイルス感染症拡大防止についてなど（7回）
個人情報適正委員会	通年	個人情報の取り扱い、セルフチェック表など（2回）

(2) 善意銀行の運営

- ① 受付・払出（日常的に受付、福祉事業や団体の活動に払出）
- ② 払出先の募集（払出先の募集・審査、適切な助成）

事業詳細	時期	内容
善意銀行の運営	通年	寄付等受付：9件、払出：16団体
運営委員会 （払出部会）	5月29日	収支報告、特定テーマ払出申請団体など（書面決議）
	11月25日	歳末助け合い運動にかかる助成など（5名出席）
払出先の助成	通年	「福祉ボランティア活動応援資金」14団体 区母と子の共励会、区民生委員児童委員協議会

(3) 共同募金ならびに日赤業務との連携・協力

- ① 共同募金への協力（共同募金運動の広報や啓発、街頭募金活動、配分金の配分）
- ② 日赤業務との連携・協力（社資募集業務に協力）

事業詳細	時期	内容
共同募金	通年	共同募金の配分金（2,208,374円） （配分先：金婚夫婦お祝い品（183組）、各地域社協、区老人クラブ連合会、区民生委員児童委員協議会、区体育厚生協会、区手をつなぐ親の会、NPO法人にしよどにこネット、区障がい者地域自立支援協議会、みてアート実行委員会、にしよど現代図工室）
		地区募金会事務
		10月1日～12月31日「赤い羽根共同募金運動」街頭募金活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。一般募金実績（3,588,347円）
日赤活動	通年	社資募集に協力

(4) 「社会福祉協議会活動の見える化」広報・情報発信機能の充実

- ① 情報発信の充実（「区社協だより」の発行、ホームページ・SNSの活用、パンフレットやリーフレットなどを活用）
- ② 区社協の見える化の推進（会員募集や事業周知の充実、区社協ユニフォームの活用）
- ③ 社会福祉講演会（映画上映会の開催）

事業詳細	時期	内容
区社協だより	秋号（10月）	31,000部、新聞折り込み・配架・送付 など
	春号（3月）	31,000部、新聞折り込み・配架・送付 など
情報発信	通年	ホームページ、フェイスブックの活用
		パンフレット、リーフレットの活用
社会福祉講演会	3月6日	映画上映会「ばあばは、だいじょうぶ」161人参加

(5) 各地域団体との連携・協力

① 各地域団体との連携・協力（区地域振興会、地域社協委員長会の開催）

事業詳細	時期	内容
地域団体活動支援	通年	地域振興会 会長会（第4水曜日、12回） 地域社協委員長会（1回）

2 地域福祉活動支援事業

新型コロナウイルスの影響により「緊急事態宣言の発令」や感染拡大防止のため、本会事業や各地域事業の中止が相次いだ中、外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業の一環として、地域主体の「食事サービス」再開に向けた支援、14地域には衛生物品を配布し活動支援を行った。

住民参加や協働による福祉活動の充実、福祉コミュニティづくりなど、西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画「ささえあいあいプラン」の推進やコロナ禍でもつながるために、状況に応じて福祉活動連絡会を開催した。また、災害発生時に備えた訓練、福祉教育などに取り組んだ。

(1) 外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援

- ① ひとり暮らし高齢者等への配食支援
- ② 衛生物品の配布

事業詳細	時期	内容
配食支援	6月～11月	食事サービス実施地域（野里・香簗・佃・姫里・福・出来島・大野百島・川北）に配食手配等
衛生物品配布	1月～2月	飛沫感染ボード・マウスシールド・携帯用アルコール等

(2) 区地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

① ささえあいあいプランの推進（推進会議、プロジェクト会議の開催）

事業詳細	時期	内容
ささえあいあいプランの推進	通年	地域福祉推進会議（2回）プロジェクト会議（4回）

(3) 地域福祉活動の支援

① 地域福祉活動連絡会の開催

② 各種団体・関係機関・施設との連携強化（「社会福祉施設連絡会」「子ども・子育て支援連絡会」「自立支援協議会」等の開催）

事業詳細	時期	内容
地域福祉活動連絡会の開催	通年（奇数月）	西淀川ささえあいあいプランについて（7月）新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について、コロナの中でもつながる方法について（9月）映画上映会「ばあばは、だいじょうぶ」（11月）盲導犬の役割を通じて学ぶ視覚障がい者の生活とバリアフリーについて（1月）あらためて防災を考える（3月）
団体・関係機関等との連携強化	通年	社会福祉施設連絡会：感染防止のため中止 役員会2回 自立支援協議会：1回 運営委員会4回出席 子ども・子育て支援連絡会：12回 西淀川こどもネット会議：5回出席 ふくふくまつり：感染防止のため中止

(4) 災害発生時における支援体制の強化

① 災害発生時における支援体制の強化（「区社協災害対策本部」「災害ボランティアセンター」の開設訓練）

事業詳細	時期	内容
市・区社協災害対策本部設置訓練	12月17日	区社協災害対策本部設置、区災害ボランティアセンター設置訓練 他

(5) 福祉教育の推進と支援・その他

① 福祉教育の推進と支援（小・中・高等学校での福祉体験学習支援）

② 認知症の理解促進（キャラバン・メイト連絡会の開催、「認知症サポーター養成講座」の実施支援）

③ 用具等の貸出・払出（車いすの貸出、寄付物品などの払出）

事業詳細		時期	内容
福祉教育	淀商業高等学校	7月8日	2年生 34人、認知症の理解・対応
	香簑小学校	11月17日	4年生 52人、車いす体験・当事者の講話
	佃中学校	3月17日	2年生 162人、車いす体験・当事者の講話
認知症の理解促進		通年	認知症サポーター養成講座（2回、民児協対象） キャラバン・メイト連絡会（2回）
車いすの貸出・払出 食支援		通年	車いすの貸出：55件 ハチ食品寄付物品払出：11件 ロックペイント株式会社寄付物品払出：36件 （メロン、水菜、サニーレタス、トマト）

(6) ボランティア・市民活動センターの運営

- ① ボランティア・市民活動の推進（相談・支援、需給・調整、「ボランティア情報誌」の発行、機材やスペースの貸出、助成の案内・申請受付、「ボランティア保険の受付・取り次ぎ」）
- ② ボランティア・市民活動センターの運営（センターの開放、資・器材の貸与、ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催）
- ③ ボランティアの発掘・育成（ちょいボラおやじの会、保育ボランティアサロン、保育ボランティアセミナー、傾聴ボランティア講座の開催、登録ボランティア団体による絵手紙講座の開催及び支援）
- ④ 多様な活動の連携・協働推進（「にしよどリンク（異業種交流会）」「ボラセンGO！連絡会」「ボラセンGO-GO」の開催）
- ⑤ 広報・啓発活動（活動情報の発信、「ボランティアエキスポ」の企画 など）

事業詳細		時期	内容
活動推進	登録	通年	個人：195人（前年度220人） グループ：41グループ（前年度42グループ）
	需給調整	通年	活動希望：1件（個人） 行事支援：11件（保育ボランティア、地域行事など） 施設等支援：2件

	相談支援	通年	個人：13件 電話（8件）、来所（5件） 保育：84件 電話（3件）、FAX（80件）、 来所（1件） 団体・組織：15件 電話（9件）、来所（2件）、 訪問（4件） ※パフォーマンス依頼は0件 社会貢献：4件 電話（3件）、来所（1件）
	情報誌	通年	年間：2,834部送付
	ボランティア 保険	通年	活動保険：84件（前年度111件） 行事保険：52件（前年度174件）
運営委員会		10月26日 2月15日	出席：9名、活動状況 など 出席：11名、活動報告 など
発掘・ 育成	組織化	通年	ちよいボラおやじの会「定例会」・「趣味の会」（10回） 保育ボランティアサロン（8回）
	養成講座	通年	保育ボランティアセミナー（1回）※3日間コース 傾聴ボランティア講座 ※前年度中止となった3日間のカリキュラム 絵手紙講座の開催及び支援（1回）
活動 支援	センター開放	通年	のべ249回（41グループ中20グループ利用）
	資・器材貸与	通年	輪転機・コピー機などを貸出
連携・協働活動		通年	にしよどリンク（偶数月5回）企画運営会議（13回） ボラセンGO！連絡会（5回） ボラセンGO-GO（3回）
広報・啓発活動		通年	ボランティアエキスポ（中止） ※実行委員会の開催（4回）

3 要援護者の見守りネットワーク強化事業

福祉専門職の「見守り支援ネットワークカー」と、各地域に配置する「地域福祉活動支援コーディネーター」が連携し、要援護者名簿の同意確認や地域における「見守りネット倶楽部」の推進、徘徊模擬訓練を実施した。

(1) 要援護者支援の充実

- ① 要援護者情報の集約・提供（「地域福祉活動支援コーディネーター」の配置、要援護者の地域団体等への情報提供に係る同意確認・地域への提供、地域の見守り活動へのつなぎ）

- ② 孤立世帯等への対応（「見守り支援ネットワーク及びコーディネーター」による訪問、関係先との調整）
- ③ 認知症高齢者見守りネットワークの構築……認知症高齢者等の行方不明時の早期発見、保護のための仕組みとして、徘徊事前登録及び協力者へ「発見メール」の配信。徘徊模擬訓練を実施。

事業詳細	時期	内容
要援護者情報の集約・提供	通年	見守り支援ネットワーク（2名配置）
		地域福祉活動支援コーディネーター（12名配置）
		同意確認（郵送 789・回答数 449件・同意 293件） （訪問 438件・回答数 119件・同意 95件）
孤立世帯等への対応	通年	見守り支援ネットワーク及びコーディネーターによるアウトリーチ （訪問 446件・電話 874件・来所 88件・その他 74件）
認知症高齢者見守りネットワーク	通年	事前登録者（のべ 256名） 協力者（メール配信者）（のべ 125名） 発見件数：5件 徘徊模擬訓練：21人

(2) 要援護者支援「見守りネット倶楽部」・地域福祉担い手育成事業

- ① 「見守りネット倶楽部」の推進・地域福祉の担い手の育成…（「見守りネット倶楽部」の構築、人材の発掘・育成、セミナーの開催）

事業詳細	時期	内容
見守りネット倶楽部サポーター会議等への出席	通年	竹島 2回、香簀 2回、野里 1回、川北 1回、出来島 1回
見守り相談室セミナー	11月30日	テーマ：コロナ禍だからこそ見守り活動を考える 活動報告：ポスティングを活用した見守り活動（見守り相談室）、見守りだよりを活用した見守り活動（川北地域） 参加人数：50人

4 生活困窮者自立相談支援事業

社会的孤立・経済的困窮により生活困難を抱える方々の早期把握と自立に向けた支援を株式会社アソウ・ヒューマニーセンターと共同体として取り組んだ。

(1) 相談窓口の運営

① 相談受付・提案（支援と解決につながる具体策の提案・紹介）

区役所生活自立相談・就労支援窓口より情報提供

事業詳細	時期	内容
相談受付・対応	通年	相談受付：2140件（前年度 869件）
		家庭訪問・同行支援：88回（前年度 100回） 関係機関等訪問：8回（前年度 6回）
		就労支援プラン作成：124件（前年度 60件） （一般就労 110名）

5 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付事業の窓口として、さまざまな生活課題を抱える人たちに対して支援を行った。特に、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活に困窮する方への特例貸付については、生活困窮者自立支援窓口と連携し、相談及び申請手続き等の支援を行った。

(1) 相談窓口の運営

① 生活福祉資金貸付事務事業の推進（相談対応、貸付、民生委員・児童委員へのつなぎ、新型コロナウイルスの影響による生活支援貸付相談）

事業詳細	時期	内容
生活資金等の相談 受付・対応	通年	総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 ・電話：235 窓口：133件 申込書配付：44件 申請数：34件(教育 23件・福祉 11件)
		新型コロナウイルス感染特例緊急小口・総合支援資金 ・電話：6356件 窓口：3343件 申込配付：2261件 申請数：4922件(総合 2959件：緊急小口 1963件) 総合(内数) 初回申請 1434件 延長申請 860件 再貸付申請 665件

6 生活支援体制整備事業

介護予防・フレイル予防を目的とした地域の身近な活動の場・居場所の創出及び介護保険制度ではまかなうことができない多様な生活支援の体制整備のため、関係機関及び様々な団体・企業・NPOなどとネットワーク（協議体）を構築し、地域の課題・ニーズを把握、取り組みについて協議した。その中で、コロナ禍での3密を避けた介護予防・フレイル予防の取り組み機会の創出に努めた。

(1) 生活支援体制の整備

- ① ネットワーク（協議体）の構築（関係機関及び様々な団体・企業・NPOなどの事業主体とネットワークを構築、高齢者のニーズ・課題の把握及び共有）
- ② 区内の高齢者の生活支援ニーズの把握（協議体会議ワーキング部会（身近な居場所の創出部会）にて高齢者の生活支援のニーズについてヒアリング及びアンケート調査を実施）
- ③ 身近な地域の居場所の創出（新規立ち上げ支援及び既存地域資源の拡充支援）
- ④ 有効活用可能なスペースの発掘・開発・担い手とのつなぎ（空き店舗などの発掘・開発、担い手養成講座の開催）
- ⑤ 様々なサービス実施情報の周知等（効果的な啓発、周知の充実）

事業詳細	時期	内容
ネットワークの構築	通年	協議体会議（2回） 身近な居場所の創出部会〔西淀川区地域包括支援センター〕（17回） ※うち3回は区全体の協議のため、両包括合同で開催。 身近な居場所の創出部会〔南西部地域包括支援センター〕（4回） ※うち1回は区全体の協議のため、両包括合同で開催。 有効活用ネットワーク部会（1回） 在宅医療・介護連携推進区民啓発部会（6回）
区内の高齢者の生活支援ニーズの把握	通年	身近な居場所の創出部会にてヒアリング及びアンケート調査
身近な地域の居場所の創出	通年	新規立ち上げ支援（4か所） 既存資源の拡充（1か所） ※コロナ禍のため、3密を避けてひとりで取り組める介護予防・フレイル予防の取り組みとして、クイズラリー「ええやん！にしよどいきいきラリー」、運動カレンダー「いきいき・はつらつ運動チャレンジ！【チャレンジ1】」、絵手紙による交流「にしよど絵手紙交流プロジェクト」を実施した。

有効活用可能なスペースの発掘・開発・担い手とのつなぎ	通年	担い手養成講座 ①『よりそう（傾聴）ボランティア講座～入門編～』第3回・4回・5回（※前年度の延期分） ②『オンライン絵手紙講座』※にしよど絵手紙交流プロジェクト
様々なサービス実施情報の周知等	通年	・いきいき・はつらつニュースの発行（2回）※地域包括支援センターだより NN ニュース withTY と共同発行 ・フレイル予防ミニ講座の開催（1回）
		・西淀川区(得)に～よん参考書シリーズ（認知症編・人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）編・在宅医療・介護予習編）の発行

7 あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

認知症や知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方が地域で自立した生活が送られるよう、福祉サービス等利用援助、金銭管理・預かりサービスを行った。

(1) 権利擁護の取り組み

- ① あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）の推進（福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理・証書等の預かりサービスを実施）
- ② 成年後見制度の紹介・利用促進（「成年後見人制度」の紹介、申立の支援、情報提供・相談 など）

事業詳細	時期	内容
あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）	通年	サービス利用件数：79件（前年度81件） （認知症高齢者等34人、知的障がい者等22人、精神障がい者等22人、その他1人） 契約締結件数：9件（前年度9件） 契約解約件数：11件（前年度9件） 初回相談受付件数：16件（前年度14件） 相談延べ件数：5526件（前年度4290件） ・電話・来所：認知症高齢者等1404人、知的障がい者等1076人、精神障がい者等1249人、その他95人 ・訪問：認知症高齢者等713人、知的障がい者等398人、精神障がい者等566人、その他25人
成年後見制度	通年	情報提供：3件

8 地域包括支援センター事業

本センターは、歌島中学校区と佃中学校区を担当圏域とし、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心して暮らすため、個別課題をまとめ、地域課題を把握し、地域包括ケアシステムの推進・深化に向けて取り組んだ。

(1) 総合相談支援及び権利擁護業務

- ① 総合相談支援…初期段階での個別相談対応に加え、必要に応じて継続的・専門的な相談支援を行った。
- ② 権利擁護……高齢者虐待対応、成年後見申立て支援、消費者被害防止等に取り組んだ。
- ③ 地域包括ケアシステム構築に向けた取組の推進…地域包括ケアシステムの推進・深化にむけて、ネットワーク構築のための会議、地域との関係づくりに取り組んだ。

事業詳細	時期	内容
総合相談業務	通年	相談実人員：734人（前年度827人） （認知症疑い有：172人、訪問による相談実人員：734人）
		相談延べ件数：5,036件（前年度5,450件） （訪問・出張：1,056件、電話：3,568件、来所：320件、その他：92件）
		相談内容 家族・家庭問題：113件、経済・生活問題：727件 介護サービス：1,275件、介護予防サービス：807件 介護予防・日常生活支援総合事業：485件 福祉サービス：295件、保健・医療サービス：635件 虐待に関すること：267件、成年後見制度の活用：214件 生きがいづくり：112件、その他：106件
権利擁護	通年	高齢者虐待受理・対応件数 ・前年度より継続対応：14件 ・令和2年度受理分：17件
		成年後見制度申立て支援 ・前年度より継続対応：9件 ・令和2年度受理分：9件
		消費者被害防止のための取組み ・区内で把握した消費者被害の情報発信：5件 ・地域包括支援センターちらしに特殊詐欺記事を掲載 ・NNニュース withTYに警察からの記事を掲載 ・エルちゃんのトラブルバイバイ♪ニュース（大阪市消費者センター）、見守り新鮮情報（国民生活センター）等の情報発信：毎月
地域包括ケアシステム構築	通年	専門機関・行政・地域等との連携 ・ネットワーク構築のための会議：110回 ・地域との関係づくり：22回

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、個々の高齢者等の状況や変化に応じたケアマネジメントができるように、地域における連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員を支援した。

事業詳細	時期	内容
介護支援専門員の支援	通年	介護支援専門員からの個別相談：618件（前年度 925件）
		居宅介護支援事業者連絡会の開催支援 ・居宅介護支援事業者連絡会：5回 ・居宅介護支援事業者運営委員会：8回
		介護支援専門員への研修会（当センター主催） ・1回（前年度 3回） 「高齢者虐待防止のための研修会」

(3) 地域ケア会議

- ① 地域ケア個別会議…個別ケース検討の地域ケア会議、事例検証：振り返りの地域ケア会議を開催した。
- ② 自立支援型ケアマネジメント検討会議（小会議含む）…高齢者の自立支援・重度化防止の資するケアマネジメントを支援するため開催した。
- ③ 地域課題整理のための地域ケア会議…地域ケア個別会議、自立支援型ケアマネジメント検討会議等で把握した個別課題・ニーズをまとめ、そこから見えてきた地域課題について多職種・他職種、地域の方等で検討し、取りまとめた。

事業詳細	時期	内容
地域ケア会議	通年	個別ケース検討：12回
		事例検証・振り返り：0回
		自立支援型ケアマネジメント検討会議：7回（小会議含む）
		地域課題整理：2回

(4) 介護予防支援事業（第1号介護予防支援事業含む）

要支援 1・2 の利用者及び事業対象者の日常生活の自立のため、介護予防の効果的かつ自立を引き出すための支援を行い、介護予防サービス及び介護予防・生活支援サービスが確保されるようにケアプランを作成した。さらに、自立支援・介護予防・重度化予防のため、インフォーマルサービスについて、十分に情報提供を行い、必要に応じてケアプランへ位置づけられた。

事業詳細	時期	内容
介護予防支援事業	通年	令和3年3月時点でのケアプラン作成：420件
介護予防ケアマネジメント	通年	令和3年3月時点でのケアプラン作成：232件

- ※ 介護予防ケアマネジメント(第1号介護予防支援事業)は、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス(訪問型サービス、通所型サービス)のみを利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ 指定介護予防支援事業は、介護予防サービス(訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、福祉用具貸与等)を利用している利用者へのケアプラン作成
- ※ ケアプラン作成数は、給付管理数を記載

(5) 家族介護支援事業

家族介護者として心構え、介護・介護予防の視点を持ち介護ができるように「ふくふく介護予習スクール」を開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止した。

介護の悩みや気持ちを話してもらえるように「ひまわりの会」「ひょうたんの会」の開催については、感染症防止対策を徹底した上で開催した。

コロナ禍での新たな取り組みとして、西淀川区(得)に～よん参考書～在宅医療・介護予習編～作成部会を立ち上げ、3師会及び医療・介護・福祉に携わる専門職の協力を得、参考書を作成・発行した。

事業詳細	時期	内容
家族介護支援	中止	にしよど介護予習スクール(全4回) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
	通年(月1回)	家族介護者の会「ひまわりの会」7回 延べ参加者45人 ※新型コロナウイルス感染症：緊急事態宣言時は中止
	通年(月1回)	男性介護者の会「ひょうたんの会」10回 延べ参加者46人 ※新型コロナウイルス感染症：緊急事態宣言時は中止
	令和3年3月発行	西淀川区(得)に～よん参考書～在宅医療・介護予習編～

9 介護予防事業(なにわ元気塾)

地域の老人憩いの家などで、65歳以上の方を対象に、生活空間を広げ、認知機能や生活全般の活性化を図ることを目的に、外出の機会、地域の人との交流の機会を増やすなど、自立した活動的な生活を送っていただけるよう、感染予防対策をとり、事業を実施した。

ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い「緊急事態宣言」が発令された期間は中止した。

(1) 介護予防事業（なにわ元気塾）

① 介護予防教室（体操やレクリエーション、音楽、手工芸など）

事業詳細	時期	内容
介護予防教室 (なにわ元気塾)	通年	柏里地域：7回・142人（前年度311人） 野里地域：9回・59人（前年度81人） 歌島地域：6回・106人（前年度259人） 香簀地域：9回・151人（前年度227人） 竹島地域：9回・83人（前年度98人） 佃地域：9回・171人（前年度192人） 大和田地域：8回・82人（前年度135人） 千舟地域：9回・93人（前年度152人） 姫里地域：8回・112人（前年度241人） 姫島地域①：9回・87人（前年度146人） 姫島地域②：9回・59人（前年度92人） 福地域：9回・65人（前年度91人） 大野百島地域：1回・8人（前年度78人） 川北地域：8回・63人（前年度140人） 出来島地域：9回・180人（前年度238人） 合計 119回・1461人（前年度2481人）

10 通所介護事業（デイサービス）

令和2年度より休

11 老人福祉センター事業

「西淀川区老人福祉センター」の管理運営とともに、高齢の生きがいと健康づくり、社会参加に向けた情報提供などを行った。

※新型コロナウイルス感染症予防対策のため令和2年4月・5月は閉館。

※センター事業及びサークル活動については、大阪市の指針により活動中止又は人数制限をした。

(1) 西淀川区老人福祉センターの管理運営

- ① 生きがいづくり事業（様々な事業の開催、自主サークル活動の支援、ボランティア活動の支援）
- ② 健康づくり事業（「骨盤体操教室」「おとなのてらこや」などの開催、「いきいき百歳体操」の普及促進）
- ③ 世代間交流事業（「に～よん文庫」の実施）

④ 老人クラブ活動への支援（区老人クラブ連合会事務局、地域の老人クラブ活動の支援 など）

※③「こども囲碁教室」、④老人クラブ活動支援は、新型コロナウイルス感染症対策により活動中止。

事業詳細	時期	内容
センターの運営	通年	延利用人数：20,060人（前年度21,648人） 登録者数：1,167人（新規登録人数：679人）
生きがいつくり事業	通年	各種教室：126回・905人 （女性部民踊、手作り教室、に～よん文庫など） ※世代間交流事業との重複案件を含む ※新型コロナウイルス感染症対策による活動中止教室「いご教室」
	通年	民踊サークル：14回・219人、フラダンス：30回・456人 その他サークル：304回・3,611人 （歌体操・編物・生花・水彩画・カメラ・習字・手話・俳句・パッチワーク・フォークダンス・ペン習字・太極拳・リズム体操・3B体操） ※新型コロナウイルス感染症対策による活動中止サークル「カラオケサークル（2グループ）」「たのしい歌広場」「コーラス」「詩吟」「歌声喫茶」「楽謡会」
	通年	※新型コロナウイルス感染症対策による活動中止事業「お楽しみ会」「お誕生会」「年忘れお楽しみ会」など
健康づくり事業	通年	骨盤体操：6回・90人 おとなのてらこや（認知症予防）：6回・53人 いきいき百歳体操：70回・485人 ※新型コロナウイルス感染症対策による活動中止事業「歯科講演会」
世代間交流事業	通年	に～よん文庫：25回・61人 ※（生きがいつくり事業との重複案件） ※新型コロナウイルス感染症対策による活動中止事業「こども囲碁教室」「年忘れお楽しみ会」「ふれあいフェスティバル」「町たんけん」
老人クラブ活動	通年	区老人クラブ連合会事務局 ※新型コロナウイルス感染症対策による活動中止事業「ふれあいフェスティバル」

12 西淀川区子ども・子育てプラザ

「西淀川区子ども・子育てプラザ」の管理運営と、「地域子育て支援拠点事業(つどいの広場事業)」などを通じて、乳幼児期の親子、子育て支援関係者や子どもたちが集い交流する機会を提供するなど、子育て世帯や子ども達の支援を展開した。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～6月は一部事業を中止。(ファミリー・サポート・センター事業、相談業務を除く)

(1) 大阪市子育て活動支援事業

- ① 子育て情報の収集、管理、提供 (区内子育て支援情報誌の発行協力、ホームページの更新、「プラザイベント情報紙」の発行など)
- ② 地域の自主的な子育て活動支援 (運営面での助言・場所の提供・遊具の貸出、「保育ボランティアセミナー」、「ファミサポ提供会員養成講座」等の開催)
- ③ 子育て中の親子の支援 (子育て支援講座や学べる機会を提供)
- ④ 児童の健全育成 (自由な遊びの機会・ふれあいの機会の提供、出前講座)
- ⑤ 地域関連・その他 (「リユースフェア in サンラフレ出来島」、「ハロウィン in サンラフレ出来島」、「に～よん文庫」、「多文化交流」など)

事業詳細	時期	内容
プラザ (全体)	通年	開設日数：304日 (前年度 302日) 利用者数：16,314人 (前年度 37,986人) 相談件数：936件 (前年度 1,097件)
登録者数 (全体)	通年	乳幼児：606人、保護者：447人、小学生：210人、 中・高校生：12人 合計：1,275人 (前年度 2,387人)
	通年	子育てサークル：0団体 一般グループ：7団体 大阪市利用団体：1団体
ホームページ	通年	「おおさか子育てネット」、「西淀川区社協」随時更新
プラザイベント情報紙	通年	プラザイベント情報紙の発行 (5月を除く)： 92,231部、配布先90か所 (のべ919か所)
子育て活動支援事業	通年	開設日数：304日 (前年度 302日) 利用者数：4,483人 (前年度 23,135人) 相談件数：155件 (前年度 208件)
自主的な活動支援	通年	ボランティアへの支援等5回：125人

保育ボランティア セミナー	11月4日～	1クール3日間、3回：のべ14人
ファミサポ 提供会員養成講座	9月2日～ 10月10日	24時間講座 受講：4人（のべ71人）うち登録4人
子育て中の親子 支援	通年	<遊び場の開放>254日：1,588人 <子育て支援講座>21事業：45回・1,390人 （リラックスヨガ、ベビーマッサージ&ベビーヨガ、 リユースフェア、ハロウィンパーティー、クリスマス パーティー、発達障がいってなに？など）
児童健全育成	通年	<自由あそび>229日・289人 <体験活動等>13事業：22回・169人 （おやつ作り教室、ハロウィン、クリスマス会、なぞ とき脱出ゲーム、英語 de あそぼう、けん玉検定会、 ババ抜き対決！など）
地域関連	10月3日 10月24日	「リユース in サンラフレ」、「ハロウィン in サンラフ レ」など2事業：87人
区事業	通年	絵本展（展示）・に～よん文庫・多文化交流などへの 協力：26回・230人
一般利用	通年	利用回数：61回・509人
その他	通年	会議等：424人

(2) 大阪市ファミリー・サポート・センター事業（支部業務）の推進

① ファミリー・サポート・センター事業の推進（子育て援助を行いたい人と援助を受けたい人をコーディネートするなど）

事業詳細	時期	内容
ファミリー・サポ ート・センター	通年	開設日数：304日（前年度302日） 利用者数：696人（前年度2,376人）
会員状況	通年	依頼会員：97人、提供会員：37人、両方会員：13 人、ペア数：138組、活動件数：187件
サブリーダー会議	6月19日 9月17日 11月19日 1月21日	「学習会、交流会について」、「ファミサポ通信の内 容について」など4回：のべ10人
交流会・学習会	10月10日 2月6日	「普通救命講習Ⅲ」「ヒヤリハットと室内・屋外の安 全チェック」など3回：37人

会報の発行	年 4 回	ファミサポ通信：687 部
その他	通年	入会・更新手続き、事業説明など：659 人

(3) 大阪市地域子育て支援拠点事業（つどいの広場事業）

- ① 子育て親子の交流の場の提供（「つどいの広場」の実施、川北・竹島・出来島での「ミニつどいの広場」の実施）
- ② 子育て相談（日常的な相談、子育て支援室や関係機関との連携を強化）
- ③ 子育て支援に関する講習（子育て支援情報の提供、「子育て支援講座」や「お誕生日かい」の開催）
- ④ ブックスタートの実施

事業詳細	時期	内容
つどいの広場	通年（週 5 日）	開設日数：246 日（前年度 225 日） 利用者数：5,108 人（前年度 12,473 人）
ミニつどいの広場	通年（月 2 回）	川北地域で月 2 回、竹島地域、出来島地域で月 1 回 開催、日数：33 日、参加：276 人
相談と援助	通年	相談件数：781 件（前年度 889 件）
子育て支援講習	通年	3 事業：32 回、参加者数：336 人
ブックスタート	通年	プラザ・川北地域・竹島地域・出来島地域 実施回数：32 回、参加者数：231 人